

5日間の「保育実践研修」終了！

平成25年度から、当教育研究所の幼稚園教育研究員の所外研修に組み込まれている「他地区の幼稚園での保育実践を通して、保育実践及び研修の充実を図り、教職員としての資質の向上と実践力の向上」をねらいとした、幼稚園教育研究員の「保育実践研修」を那覇市立古蔵幼稚園において、10月23日～11月10日の間で5日間実施しました。

当教育研究所の指導講師を長年務められた村吉和美主幹の勤務する「古蔵幼稚園」で、村吉先生から、理論に裏付けられた実践のありかたを直接学ぶことができる貴重な研修でした。

【研修内容】

- 1 一日の保育の流れ
- 2 環境構成の工夫
- 3 教師の援助
- 4 その他



写真1 土嚢袋で栽培中の大根



写真2 種から花の苗を準備中



写真3 保育実践中の教育研究員



写真4 お礼を述べる教育研究員

幼稚園教育研究員の感想 (研修日誌から)

○今回、保育実践研修で古蔵幼稚園へ参観する機会を頂きました。毎回、実践から理論に下ろして説明して下さい、納得する日々でした。幼児の姿を、発達過程と照らし合わせながら、出来ないや出来ていないという捉えではなく、通過していないという視点に変えるだけで、何が足りなかったのか振り返り、肯定的に捉えられることができるという保育の原点を見た気がします。通過できていない所を通過できるように、個々に応じた対応をしていくことが、教育要領の一人一人に応じた指導としてうたわれていることに結びつくと理解することができました。

また、保育とは感動体験をする機会や場をたくさん作ってあげることが大切で、季節に応じた環境よりも、子ども自身が言わずにはいられない環境の大切さを改めて感じました。その感動した心や気持ちに共感したり、気付いてあげたりできるように教師自身の体験を豊かにしていくことが重要で、これからの教師生活で意識していこうと感じる部分でした。

今回5日間の実地保育は楽しみながら学びました。教師も子どももワクワクしながら共に生活が送れる幼稚園ってどのくらいあるのか、考えさせられました。まだ保育経験が未熟な私にも、ひとつひとつ丁寧に説明してくださったり具体的なアドバイスをしてくださった村吉先生には感謝の気持ちでいっぱいです。“よし！やってみよう”という気持ちにしてくれる、村吉先生に出会えて良かったです。ありがとうございました。私の宝物になる研修となりました。(上原亜矢)